

工学部地球工学科 1 回生

僕がこの授業を通して学んだことはいくつかありますが、ここではそのうちの二つを挙げることにします。

一つ目は、創意工夫の大切さです。何を当たり前のことを、と思われるかもしれませんが、自分はそうしているつもりでも、実は出来ていないというのがよく分かりました。言い訳にしかありませんが、これは「大学に受かる」という単純明快な目的のために今まで動いていたせいかもしれません。それに慣れ切って、知らず知らず、受け身な体勢になっていたようです。

しかし、単一の目的に向かって指示通りに動くことは、誰にでもできて、言い換えればその人である必要が全くありません。何かをするときに「創意工夫」をせずに他人に言われた通りし「自分らしさ」がないのでは、する意味がない気が付きました。いえ、本当は気が付いていたのかもしれませんが。「創意工夫」には、もちろん考えることが必要です。そして、考えることはとても面倒なことです。それ故、考えることを放棄していたのでしょう。自分はちゃんと考えていると自分を騙しつつ。

この授業では、必ず自分で考えることが必要です。だから、僕は上記のことに気付けたのだと思います。

二つ目は、人とのコミュニケーションです。僕はどちらかと言うと、引っ込み思案で人と話すのが苦手なタイプです。ですが、授業で他の人が提案した素材を見てみると、先生が持って来て下さったものも含めて、本当に驚くべきものばかりでした。特に「過冷却水」は自分では、絶対に思いつくことがないであろう素材で、本当に驚きました。

自分でない他人はその大小はともかく、必ず自分とは違う考え方をしています。その考え方を知るとは自分の考え方をもう一度見直し、熟成させるのにとっても役立ちます。そして、会話を始めとした様々なコミュニケーションは、それを知る良い手段となります。

授業を通して、自分をより高めたいと思うのならば、「創意工夫」をし、他人と積極的にコミュニケーションをとるべきだと今の僕は思っています。